

令和 6 年度 改善実施状況報告書【 教育 】

推進責任者：宇佐川 毅

改善を要する点			改善計画	計画の実施主体	計画の 実施状況	備考
年月	内容	根拠				
令和6年10月	【教育会議】 ◆カリキュラム・マップの様式について カリキュラム・マップについて、それぞれの学修成果の内容や、学修成果と関連性を示す記号が示されているが、学生を含むステークホルダーに向けてわかりやすい説明・表記となっているか検討いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目C-1の点検項目【カリキュラムマップ、カリキュラムツリー等に、履修の順序関係を明確にした体系性が示されていること。】	令和6年11月14日開催の教育会議で設置が了承された「令和6年度教育総合評価の教育会議に求められた改善に関するワーキンググループ」において、カリキュラム・マップの様式にかかる改善案について検討のうえ、令和6年12月13日開催の教育会議に提案し、審議・了承後、部局へ通知を行う予定である。	教育会議	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	令和6年12月13日開催の令和6年度第6回教育会議において、カリキュラム・マップ様式の見直しを行い、令和6年12月25日付教育会議議長名で、部局へ以下の対応について通知した。また、所要の対応を行った上で、「3ポリシー等を変更する場合のフロー」に基づき、公表を予定している。 ・令和7年度のカリキュラム・マップについては、既に本学Webサイトへ公表済みであることから、教育支援課学務企画担当において様式の修正を一括して行う。（令和7年3月公表予定） ・令和8年度以降入学者用のカリキュラム・マップについては、各部局に対して作成例を示した上で修正いただく。（令和7年6月公表予定）
令和6年10月	【教務委員会】 ◆シラバスについて 全学共通評価や教養教育プログラム評価において、シラバスチェックの結果、「オフィスアワーの周知状況」や「1単位あたりの45時間の学修時間が必要であること」、「授業計画欄が当該授業科目の単位数により定められた授業時間に相当する授業回数で構成されていること」等の項目において、昨年度と比較し芳しくない状況が見られたため、改善に向けた方策を検討いただきたい。	「教養教育プログラム評価」における評価項目C-3の点検項目【シラバスを検証することで、1単位当たり45時間の学修時間が必要であることが確認できること。】 「教養教育プログラム評価」における評価項目D-2の点検項目【全ての授業科目のシラバス、授業計画欄が当該授業科目の単位数により定められた授業時間に相当する授業回数分（8回、15回等）で構成されていること。】 「全学共通評価」における評価項目I-2の点検項目【オフィスアワーが適切に周知されていることを確認する。】	令和6年12月16日開催の教務委員会において、改善の提案を受けて対応について審議した結果、シラバスの入力について、各部局の教授会等にて周知徹底することが了承され、3月開催の教務委員会で周知状況を確認することとしている。	教務委員会	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	令和6年12月16日開催の教務委員会において、シラバスの入力について、各部局の教授会等にて周知徹底することが了承され、3月開催の教務委員会で各部局での周知状況を確認済みである。
令和6年10月	【工学部】 異議申し立ての窓口が組織的に設けられていることは確認できたが、「受付後の対応の手順、様式」が、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に沿った様式ではないため、改善いただきたい。	「学位プログラム評価」における評価項目F-7【成績に関する異議を受け付ける窓口が組織的に設けられていること（受付後の対応の手順、様式等についても確認する。）】	令和6年度前学期の学生あて異議申立て告知文から、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に基づいた記載内容に改め、既に周知済である。 また、令和7年1月より作成に取りかかる「令和7年度の学生便覧」の記載より、本学の成績評価に関する異議申し立てのガイドライン（令和3年12月6日教務委員会裁定）に基づいた記載内容に修正して、学生各位あてにも周知することとする。	工学系教育質保証委員会	☐ 検討中 ☐ 対応中 ☒ 対応済 ☐ その他 ()	